

1/14（水）の発表

【道庁プレスリリース】

報道発表資料の配付日時 1月14日（水）17時00分

発表項目 (行事名)	野鳥における高病原性鳥インフルエンザ発生状況について (高病原性確定 石狩振興局・札幌市ほか 道内26例目、27例目)																			
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)		発表者																	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 次のとおり回収された死亡野鳥について、北海道大学及び国立環境研究所が実施した遺伝子検査で、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）が確認された旨、1月13日（火）に連絡がありました。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">回収日</th> <th style="text-align: center;">場所</th> <th style="text-align: center;">種類</th> <th style="text-align: center;">羽数</th> <th style="text-align: center;">検査結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1/7</td> <td style="text-align: center;">札幌市中央区 北海道大学構内</td> <td style="text-align: center;">ハシブトガラス</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1/12 高病原性を確認（北大） (道内 26 例目)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1/7</td> <td style="text-align: center;">えりも町</td> <td style="text-align: center;">ハシブトガラス</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1/13 高病原性を確認（国環研） (道内 27 例目)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※同一地域内で継続して発生した場合は、より一層の注意喚起のため、地元市町村と協議の上、回収された地区名を公表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 環境省は、各回収地点の半径10kmの区域内を野鳥監視重点区域に指定し、野鳥の監視を強化することとしています。 <p style="margin-left: 20px;">【野生動物対策課 野鳥の高病原性鳥インフルエンザ情報ページ】 https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/birdflu.html</p> 					回収日	場所	種類	羽数	検査結果	1/7	札幌市中央区 北海道大学構内	ハシブトガラス	2	1/12 高病原性を確認（北大） (道内 26 例目)	1/7	えりも町	ハシブトガラス	1	1/13 高病原性を確認（国環研） (道内 27 例目)
回収日	場所	種類	羽数	検査結果																
1/7	札幌市中央区 北海道大学構内	ハシブトガラス	2	1/12 高病原性を確認（北大） (道内 26 例目)																
1/7	えりも町	ハシブトガラス	1	1/13 高病原性を確認（国環研） (道内 27 例目)																
参考	<p>〈今後の道の対応〉</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 関係振興局は、野鳥監視重点区域における監視を強化します。 (2) 札幌市の回収地点から半径3kmの区域内にある家きん飼養農場に対し、飼養家きんの異状の有無等を確認しますが、現時点で道内の家きん飼養農場から異状を認める報告はありません。 また、えりも町の回収地点から半径3kmの区域内に家きん飼養農場はありません。 (3) 北海道海外悪性伝染病警戒本部幹事会構成員には情報共有をもって発生予防対策の徹底を図ります。 																			
報道（取材）に当たつてのお願い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高病原性鳥インフルエンザは、感染した鳥と密接に接触するなどの特殊な場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられています。日常生活においては、過度に心配する必要はありません。 																			
他のクラブと の関係	同時配付 同時レク	石狩振興局、日高振興局																		
担当（連絡先）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境生活部自然環境局野生動物対策課野生鳥獣係（担当者：課長補佐 寒河江） 公用スマホ：011-585-6104 内線45731 TEL：011-231-4111（内線24-384）ダイヤルイン：011-204-5205 ・農政部生産振興局畜産振興課家畜衛生係（担当者：主幹（防疫） 大野） 公用スマホ：011-585-6103 内線33614 TEL：011-231-4111（内線27-791）ダイヤルイン：011-204-5441 																			

令和8年（2026年）1月14日17時現在

令和7年（2025年）シーズンの野鳥の高病原性鳥インフルエンザ発生状況

本件	野鳥 ○例目	回収日	場所		検体情報			簡易 検査	遺伝子 検査	病原性
			振興局	市町村	検体の種類	種名	羽数			
●	27例目	1/7	日高	えりも町	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	/	陽性	高病原性（27例目）
●	26例目	1/7	石狩	札幌市中央区北海道大学構内	死亡野鳥	ハシブトガラス	2	/	陽性	高病原性（26例目）
	25例目	1/2	胆振	苫小牧市	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	/	陽性	高病原性（25例目）
	24例目	12/28	胆振	伊達市	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	/	陽性	高病原性（24例目）
	23例目	12/22	石狩	札幌市中央区北海道大学構内	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	/	陽性	高病原性（23例目）
	22例目	12/8	石狩	札幌市中央区北海道大学構内	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	/	陽性	高病原性（22例目）
	21例目	12/1	十勝	芽室町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	/	陽性	高病原性（21例目）
	20例目	11/27	釧路	釧路市	死亡野鳥	ハシボソガラス	1	/	陽性	高病原性（20例目）
	19例目	11/28	石狩	札幌市中央区北海道大学構内	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	/	陽性	高病原性（19例目）
	18例目	11/19	オホーツク	湧別町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	/	陽性	高病原性（18例目）
	17例目	11/18	上川	旭川市	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	/	陽性	高病原性（17例目）
	16例目	11/12	釧路	標茶町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	高病原性（15例目）
	15例目	11/11	オホーツク	湧別町港町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	/	陽性	高病原性（14例目）
	14例目	11/7	オホーツク	湧別町港町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	/	陽性	高病原性（13例目）
	13例目	11/12	十勝	浦幌町	衰弱野鳥	タンチョウ	1	/	陽性	高病原性（16例目）
	12例目	11/4	根室	別海町	死亡野鳥	ハクチョウ類	1	/	陽性	高病原性（12例目）
	11例目	11/2	オホーツク	斜里町	死亡野鳥	オジロワシ	1	/	陽性	高病原性（11例目）
	10例目	10/31	十勝	浦幌町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	高病原性（10例目）
	9例目	11/2	釧路	標茶町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	/	陽性	高病原性（9例目）
	8例目	10/30	根室	中標津町	死亡野鳥	タンチョウ	1	/	陽性	高病原性（8例目）
	7例目	10/31	釧路	鶴居村	衰弱野鳥	タンチョウ	1	/	陽性	高病原性（7例目）
	6例目	10/30	釧路	標茶町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陽性	陽性	高病原性（6例目）
	5例目	10/23	石狩	千歳市	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	高病原性（4例目）
	4例目	10/27	根室		死亡野鳥	シマフクロウ	1	/	陽性	高病原性（5例目）
	3例目	10/25	十勝	浦幌町	死亡野鳥	タンチョウ	1	/	陽性	高病原性（3例目）
	2例目	10/23	根室	根室市	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性（2例目）
	1例目	10/15	胆振	苫小牧市	死亡野鳥	オオタカ	1	陰性	陽性	高病原性（1例目）